

# 枚方市へ教育用端末120台

## 「イー・ラーニング研究所」が寄贈

枚方市は、教育システム開発事業などを手掛けるイー・ラーニング研究所（吹田市）から、同社オリジナルの教育用タブレット端末120台を寄贈されたと発表しました。市は、同端末を市内13カ所の「子ども食堂」に貸し出し、学習支援に活用するとしている。

寄贈されたのは「FOR CE Tab（フォルスタブ）」と呼ばれる教育用タブレット端末で、ゲーム感覚で学習できるオリジナルアプリなど20種類以上のア

プリが搭載されている。

市は、市内のNPO団体などが運営し、家庭の事情で食事をとる機会が少ない子供たちに夕食を無償提供する「子ども食堂」を支援しており、今回寄贈された端末を活用して支援内容の



イー・ラーニング研究所の吉田智雄社長（右）からタブレット端末の目録を受け取る枚方市の伏見隆市長（左）

充実を図る。

市役所で行われた寄贈式で伏見隆市長は「タブレットは子供の好奇心を引き出す。勉強をしたいという気持ち芽生えれば」とあいさつ。イー・ラーニング研究所の吉田智雄社長は「微力ではあるが（子供たちのために）協力できればと思った。気軽に楽しく学習してほしい」と語った。